

WCN2017 第23回世界神経学会議

Patients Awareness Day

患者さんとともに神経疾患を考える



WCN
2017

- 日時** 2017年9月16日(土) 14:00~16:05 (開場13:30)
- 定員** 600名(先着順)
- 場所** 国立京都国際会館 アネックスホール1
京都市左京区宝ヶ池 (最寄り駅: 地下鉄烏丸線「国際会館」)
- 主催** 第23回世界神経学会議組織委員会、一般社団法人日本神経学会
- 共同主催** 日本学会会議
- 後援** 厚生労働省 / 文部科学省 / 京都府 / 京都市 / 一般社団法人京都府医師会 / 京都新聞 / 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー (一部予定)
- テーマ** **脳、神経そして筋肉の病気を治す!**
—患者の声、最先端の治療、行政からのサポート—
- 司会** 水澤 英洋 (国立精神・神経医療研究センター 理事長)
高橋 良輔 (京都大学病院神経内科 教授)

参加費 無料
事前参加登録不要

当日直接会場にお越しください

- プログラム**
- 14:00 開会の辞: 第23回世界神経学会議 会長 水澤 英洋
 - 14:05 歓迎の挨拶: 世界神経学連合 会長 Raad Shakir
 - 14:10 患者の言葉1: 日本パーキンソン病友の会 代表 中村 博
 - 14:30 患者の言葉2: 世界パーキンソン病連合 代表 エリザベス・ポラード
 - 14:50 最先端の治療1: 「パーキンソン病など神経疾患の遺伝子治療はもう現実」
自治医科大学病院神経内科 特命教授 村松 慎一
 - 15:10 患者の言葉3: 遠位型ミオパチーの患者会(PADM) 代表 織田 友理子
 - 15:25 最先端の治療2: 「空胞性遠位型ミオパチーの治療」 東北大学病院神経内科 教授 青木 正志
 - 15:45 行政からの支援: 「日本の難病対策の発展」 厚生労働省健康局難病対策課 課長補佐 徳本 史郎
 - 16:00 閉会の辞: 第23回世界神経学会議 事務総長 高橋 良輔

お問い合わせ 日本神経学会事務局 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル
TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931 E-mail. jsn-secretariat@neurology-jp.org
<http://www.neurology-jp.org/neuro2017/>